

京都私立病院協会 感染対策研修会

流行に備えて再確認を！

感染性胃腸炎は、患者のみならず医療従事者や施設全体に深刻な影響を及ぼす感染症です。特にノロウイルスなどは、感染力が非常に強く、短期間で広範囲に拡大する危険性があり、感染症の流行に備え、正しい知識と迅速な対応力を身につけることは、医療現場の安全を守るうえで極めて重要です。

これを踏まえ、当協会感染症対策委員会では、医療従事者の皆様が感染性胃腸炎に対する理解を深め、現場での対応力を高めることを目的として、京都済生会病院看護課長であり、感染管理特定認定看護師として豊富な経験をお持ちの岡本教子氏をお迎えし、ご講演をいただきます。

感染性胃腸炎を改めて学び直す貴重な機会となるとともに、実際の事例を交えた対応方法など、現場で即実践できる内容となっておりますので、ぜひ多くの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

感染性胃腸炎の感染対策

令和 8 年

1月15日(木)

参加
無料

時 間 14 : 30 ~ 16 : 00

会 場 京都経済センター 6 階 6 - B 会議室

* オンラインでも参加可能です。(Zoom ウェビナーによる生配信)

講 師 岡本 教子 氏

社会福祉法人恩賜財団 京都済生会病院
看護課長 / 感染管理特定認定看護師

申込ページ



対 象 会員病院の全職種

定 員 会場 20 名・オンライン 500 名 (先着順)

お申込

当協会ホームページ (<https://www.khosp.or.jp/>) の
「研修会・イベント申し込み」より、**1月8日(木) まで**にお申込下さい。